

年頭のご挨拶



農業委員長 松永 晋一

明けましておめでとうございます。皆様にはお健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年世界的に異常気象が発生し、日本でも大きな気象変動が毎年発生するため農産物の生産や生活に多大な影響を与えています。

水稲においては、六月の低温で莖数が少なめとなり、八月の日照不足が登熟に影響し、作況「98」のやや不良となりました。

ロシアのウクライナ侵攻に対する経済制裁、貿易の停滞による資源価格の高騰、記録的な円安が社会・

経済に大きな影響を与えています。農業分野でも肥料や飼料をはじめ電気料金・燃料価格の高騰など、価格転嫁が難しい農業経営に大きな打撃を与えています。

新型コロナウィルスは、依然収束が見られず第八波感染拡大期に入り、行動制限はなくなつたものの物価高と相まって経済活動の落ち込みが懸念されます。

22年産米は、作況から収穫量670万トンの見込みで、適正生産量675万トンを下回りました。しかしながら在庫量は218万トンで、適正量200万トン

を依然として上回っています。消費動向やオミクロン株の拡大懸念など、直近の動向を見極めて23年の適正生産量が669万トンに設定されました。これを受け飯山市には前年比2.1%減の6166トン(面積換算23.9%減)が配分されました。近いうちに各生産者へ配分量が示されますが、依然として米の在庫が高水準のため、皆が協力し、米価を維持していくことが強く求められています。

食料・農業・農村基本法の見直し検討では、各国の食料輸出規制が強化される流れの中で、食料安全保障が検討されていますが、多くの識者の間では、依然として必要な食料は確保できるとの楽観論が大勢を占めており他部門の安全保障に対する予算処置に比べ極めて少ない状況であり、さらに国民世論の喚起が重要となります。

農業委員会の重要業務として、優良農地の確保と効率的な利用の促進に取り

組み、担い手への農地の集積・集約化など、農地の活用を促進することが法令化されています。このため、将来の農地利用を二筆ごとして示した地図を作成する「地域計画」を全農業委員会で行うこととなっています。

高齢化が進行する中、多様な担い手など地域関係者の参加を得て農地の集積や地域づくりの方針の話し合いを進めることがますます重要となっております。農業委員・農地利用最適化推進委員が地区の実態を把握し、個々の目標を定めて農地利用計画の作成を展開しますので、農地のことは何でも遠慮なくご相談いただくとお願いいたします。

本年も、農政課題について、農業委員会組織を挙げて農業農村の発展につながるよう運動を継続してまいりますので、各位のご指導ご協力をお願いし、年頭のご挨拶といたします。

あしあと 11・12月の活動記録

- 11月8～10日 管外視察研修
- 11日 農業委員会役員会
- 16日 長野県農業委員会大会
- 26日 11月農業委員会総会
- 12月7日 市長と懇談会
- 9日 農地相談
- 〃 農業委員会役員会
- 23日 12月農業委員会総会



研修視察報告

飯山市農業委員会

佐藤弘子 小林嘉之

管内視察 (飯山市岡山地区)

【(株) フジすまいるファーム飯山】

9月6日「(株) フジすまいるファーム飯山」を訪ねました。なべくら高原のほ場では、トラクターを使用した枝豆の収穫が行われ、旧岡山小学校では、選別・袋詰め作業を真剣に行っていました。(株) フジすまいるファーム飯山は、飯山市のプロジェクト事業で誘致した障がい者就労継続支援 A 型事業所で、(株) フジ(本社:愛媛県松山市 現(株) フジ・リテイリング)との協力により旧岡山小学校に開所しています。2019年には木島地区に坂井芋の出荷作業所を竣工しました。2020年より坂井芋と枝豆の生産に集約し、現在は、坂井芋2ヘクタール、枝豆4ヘクタールに作付けしています。農作業のない冬期間は、国産春雨の端材の選別、商品化を行っています。生産した坂井芋や枝豆、春雨は、愛媛県のスーパーで販売されているほか、昨年からは、愛媛の柑橘類とともにJA、道の駅「花の駅 千曲川」でも販売されています。

管外視察 ～ 四国3県 (愛媛・香川・徳島) ～

【(株) フジ・リテイリング / エミフル MASAKI】

11月8日～10日、12名が参加し管外視察研修を行いました。初日は、飯山市で活動されている(株) フジすまいるファーム飯山の親会社、「(株) フジ・リテイリング」(愛媛県松山市)を表敬訪問しました。(株) フジ・リテイリングは、本年4月に(株) マックスバリュ西日本と経営統合、2024年3月には完全統合し、中国・四国圏で517店舗を有する会社になるということです。会社説明を受ける前、隣接する「エミフル MASAKI」を見学しました。長野県産青果は少なく、JA 中野市の菌茸が見られる程度でした。しかし、夏季、年の暮れには(株) フジすまいるファーム飯山の枝豆やとう立ち菜が売り場に並ぶとのことでした。



エミフル MASAKI : 中野市のキノコが並ぶ

【太陽市 (おひさまいち) / 豊稔池ダム】

9日は、2020年JA直売所販売高全国ランキング3位のJA えひめ中央の農産物直売所「太陽市 (おひさまいち)」(愛媛県松山市)を見学しました。大規模な直売所と広い敷地にはJAの関係施設が設けられ、保育所施設も併設されていました。午後は、香川県観音寺市豊稔池土地改良区が管理運用をしている、日本最古のアーチ式石積ダムである「豊稔池ダム」を視察しました。約500ヘクタールの耕地に農業用水を供給する役割を持つとともに、平成8年に国の重要文化財の指定を受け、観音寺市の観光名所となっています。



太陽市: たくさんの柑橘類

【観音寺市農業委員会との意見交換会】

香川県観音寺市役所にて農地利用最適化活動などについて観音寺市農業委員会代表者の皆さんと意見交換会が行われました。観音寺市農業の特徴は、水田裏作(当地では水田が裏作と言っていました)にレタス、ブロッコリー、セロリなどの野菜を取り入れての二毛作経営が積極的に営まれており、特にロメインレタス、セロリは市ブランド認証制で認証されて振興を図っているとのことでした。しかし、全国各地で問題化している遊休荒廃農地の増加と高齢化問題は、近年ますます大きな課題となっており、農地効率の高い西南暖地地方においても、後継者、高齢化の両問題が大きく表れてきていることを感じた意見交換会でした。



豊稔池ダム: まるで中世のヨーロッパ



10日の最終日は、金刀比羅宮にわれら一行代表者(健脚者)で早朝参拝。その後、うず潮と鳴門大橋(徳島県)を見学しました。



観音寺市役所: 意見交換会